



藤田プロジェクト 2024

セーフティネット～フィッシング詐欺体験～



メンバー

講師：藤田 真浩

・有田慎之助 ・遠藤悠希 ・長田辰哉 ・見目朝陽 ・渋谷美瑛
・中尾空 ・成毛碧虹 ・牧田拓実 ・村松和季



テーマの背景と目的

私たちは、セキュリティの中でフィッシングの対策を考えるというテーマのもと活動しています。本プロジェクトのゴールを考えるためにあたって、セキュリティの現状についてメンバーと議論した結果、フィッシング詐欺に対する関心が高まり、フィッシング詐欺に関するコンテンツを作るという方向性になりました。そのため、まず学部の生徒を対象としたアンケート調査を実施し、対策や具体的な事例についての間接的な理解を深めることにしました。アンケートの結果から明らかになった「大学生のフィッシング詐欺に対する危機感の欠如」という問題を解決するために、体験型詐欺サイトを実現します。実現に向けて、既存の体験コンテンツを調査・分析し、独自のコンテンツを作ることを目標とします。



スケジュール

4月

5月

6月

7月

夏休み

セキュリティ分野の

アンケート作成

アンケート結果分析

ポスター作成

技術／統計の勉強

先行事例研究、調査

アンケート実施

ポスター作成

プレゼン準備

調査

目標設定＆企画検討

Webサイト作成

役割分担

中間発表会

9月

10月

11月

12月～

開発／設計開始

成果物

試験運用・改良

成果物の完成

プロトタイプ作成

最終発表会

報告書・映像の作成

最終成果報告書



企画の具体案

大学生を対象にする企画です

- ・実例を用いたフィッシング詐欺の危険性教育
- ・体験型フィッシング詐欺シミュレーション

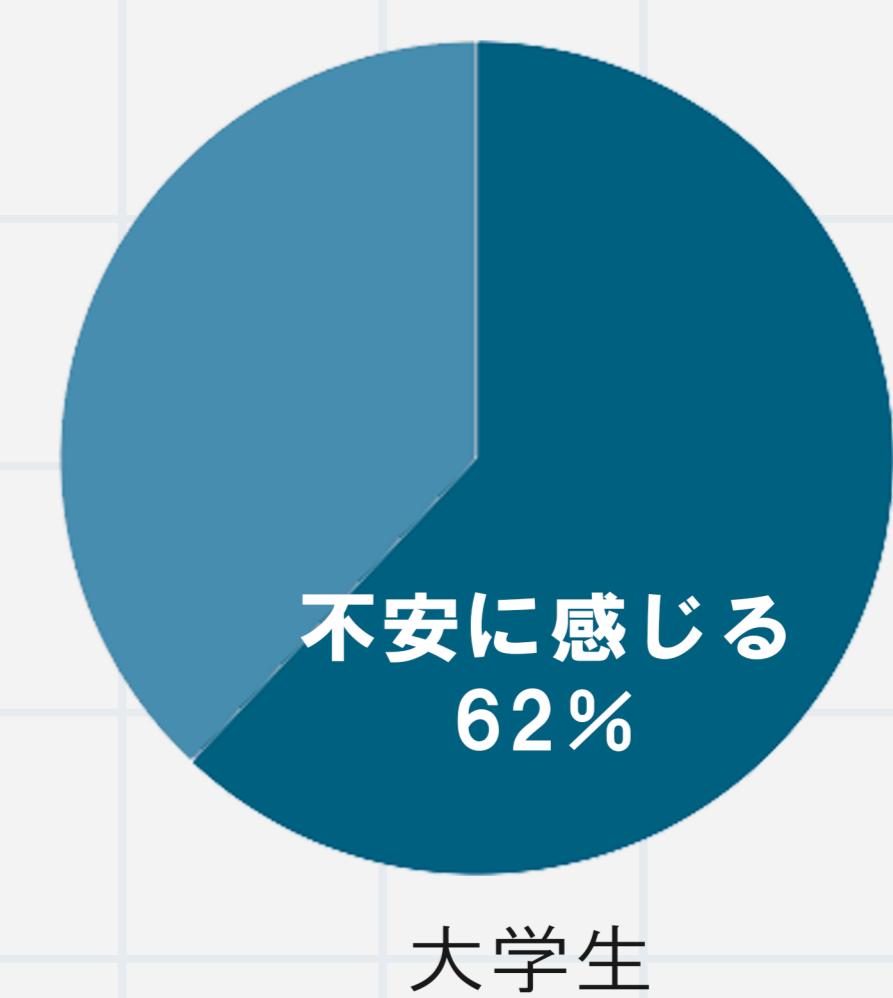
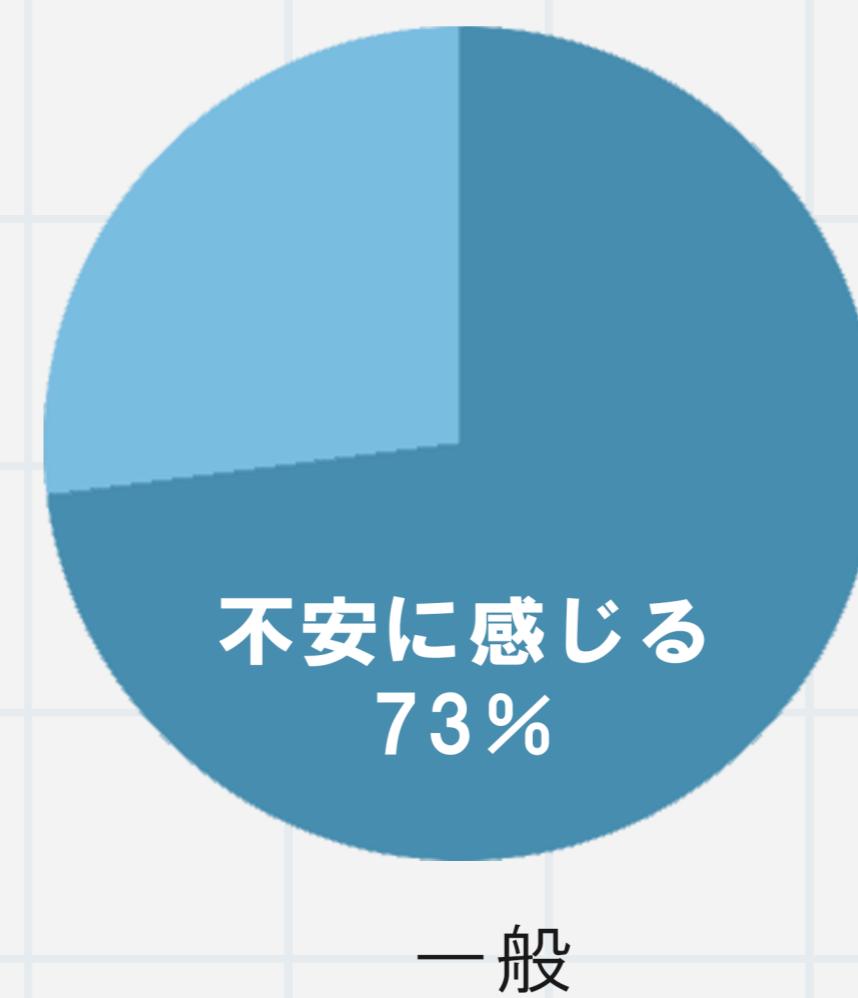
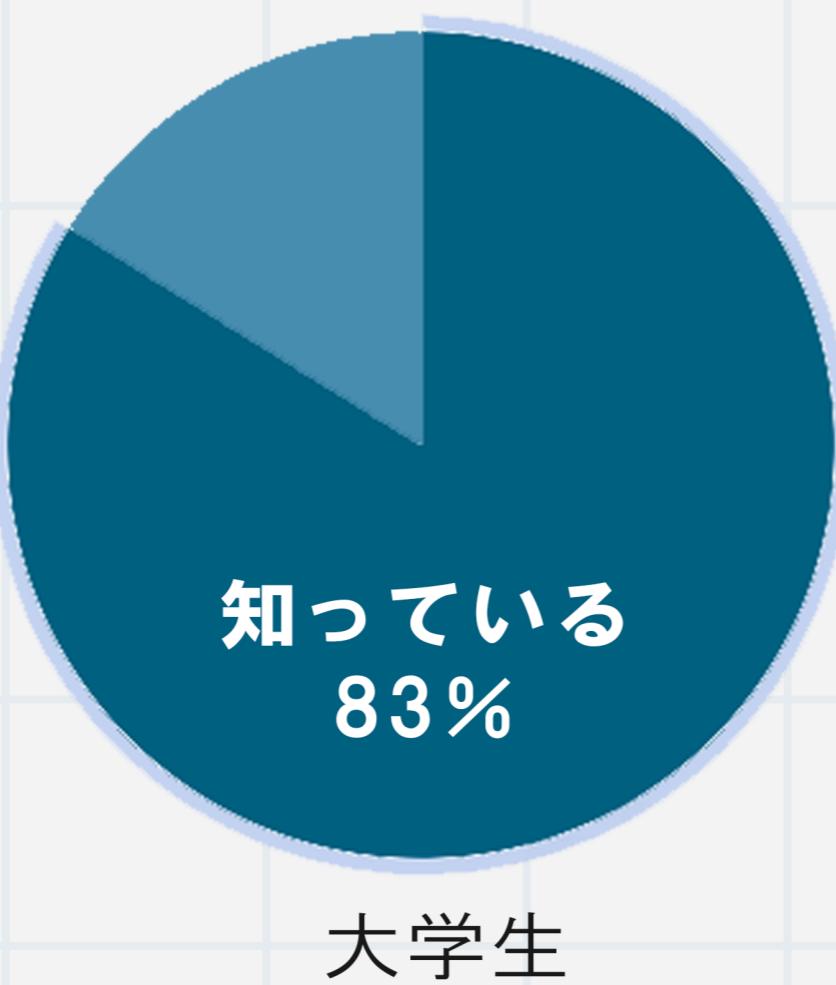
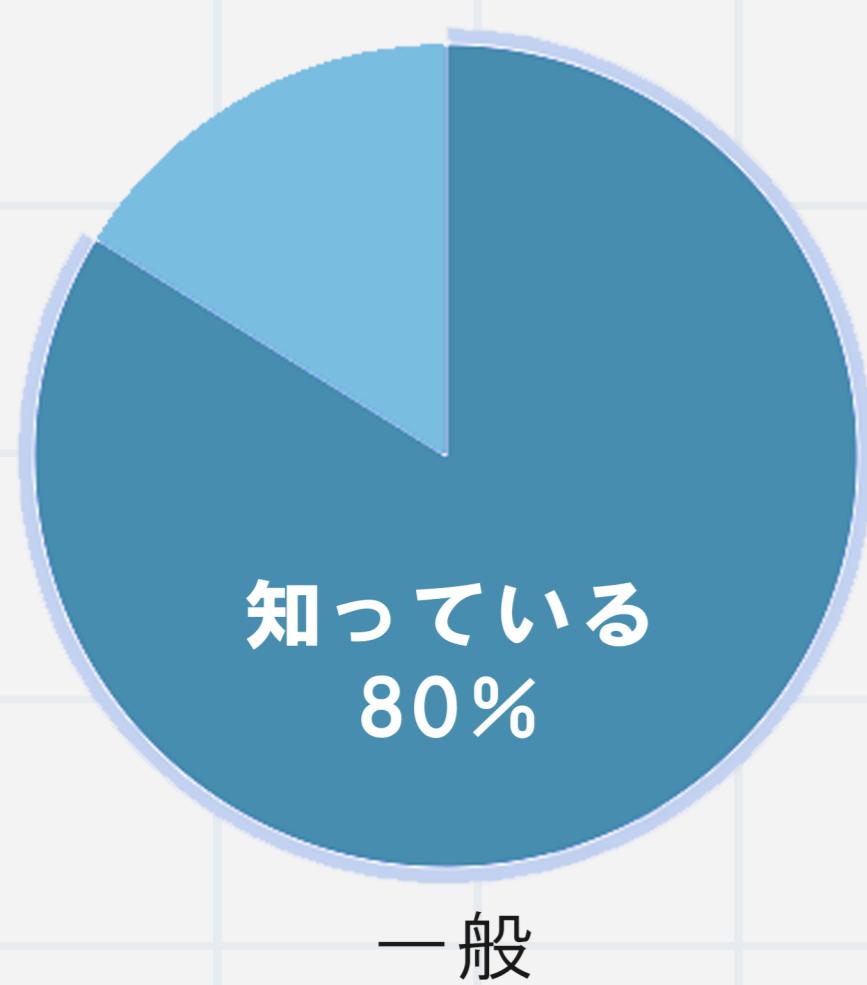
大学生のフィッシング詐欺に対する認識と危機意識のギャップを埋めるため、アンケート結果から得られた以下の問題点に焦点を当てています：

フィッシング詐欺の認知度(大学生83.3%)は一般(80%)より高いにもかかわらず、

実際に不安を感じている割合(大学生62.2%)は一般(73.9%)より低い。

「フィッシング詐欺」という言葉を知っていますか？

フィッシング詐欺についてどれくらい心配していますか？



この問題に対応するため、実際の被害事例や最新の手口を紹介し、身近な脅威であることを認識させる教育プログラムを提案します。また、安全な環境で疑似的にフィッシング詐欺を体験し、その巧妙さと危険性を実感できるシミュレーションを実施します。

このように、知識と実践のギャップを埋め、具体的な対策スキルを身につけられる具体案を提案します。



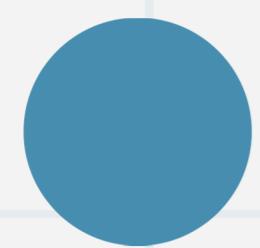
予想される成果物

アンケート結果

専修大学の学生を対象に実施した、フィッシング詐欺に関する意識調査の結果をまとめます。この調査では、フィッシング詐欺の認知度、インターネット利用時の不安感、過去の被害経験、現在実施している対策などを調査しました。得られたデータはグラフや図表を用いて視覚的に表現し、一般的な回答との比較分析も行います。この結果は、学生のフィッシング詐欺に対する現在の理解度や意識レベルを明らかにし、今後の啓発活動や教育プログラムの設計に活用します。

体験型コンテンツ

実際の詐欺手法を模した安全なシミュレーションを通じて、フィッシング詐欺の仕組みと対策を実践的に学べるウェブアプリケーションを開発します。このコンテンツでは、大学生の日常生活に即した独自のシナリオ（偽の大学メールシステムや、学生向けサービスを装った詐欺サイトなど）を用意し、ユーザーが能動的に参加しながら学習できるよう設計します。クイズ形式の問題も組み込み、学習の定着度を確認できるようにします。アンケート結果から得られた学生の弱点や傾向を考慮して開発することで、効果的な学習体験を提供します。



現状と見通し

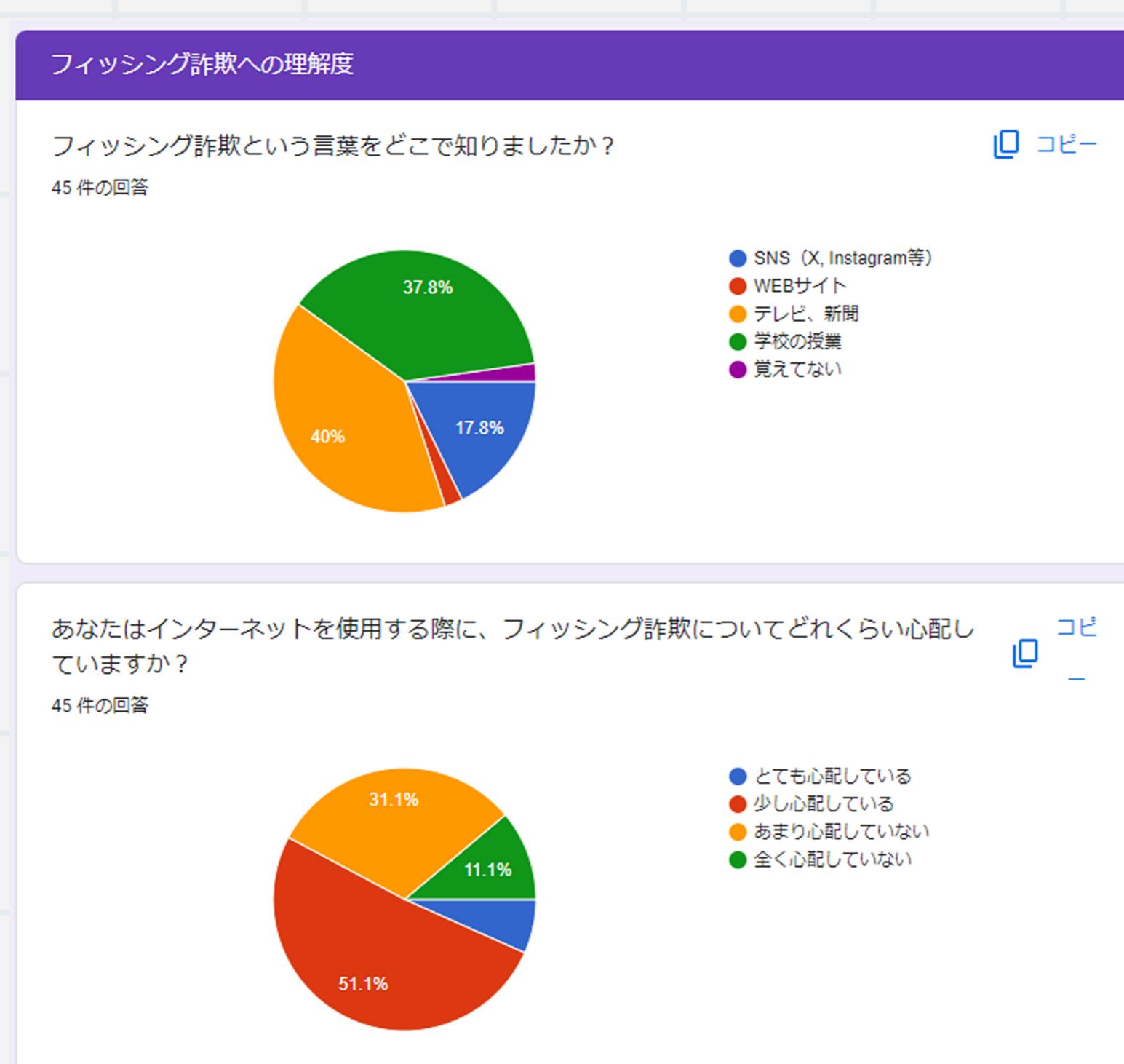
アンケート調査を実施しました！

専修大学の学生を対象に、フィッシング詐欺に関する包括的な意識調査を実施しました。このアンケートの作成過程では、チーム全体で何度も質問を練り直し、改善を重ねました。

質問項目を「過去の経験」「現状の対策」「理解度」「判断基準」の4カテゴリーに分類し、各カテゴリーで多角的な質問を設計しました。例えば、単純な被害経験の有無だけでなく、印象に残った詐欺メールの内容も尋ねるなど、より具体的な情報を引き出せるよう工夫しました。

また、質問の形式も検討し、段階選択肢や自由記述を適切に使い分けることで、回答者の考えをより正確に把握できるようにしました。

これらの工夫により、「フィッシング詐欺」の認知度、不安感、被害経験、対策状況など、多岐にわたる項目について、より深い洞察を得られるアンケートを作成し、実施することができました。



フィッシング詐欺が自身に与えるリスクについてどのように考えていますか？	個人情報の流出: 80%, パスワード流出: 88.9%, SNSアカウント乗っ取り: 60%, クレジットカード悪用: 82.2%, ウィルス感染: 55.6%, 特にリスクなし: 0%
自身はフィッシング詐欺にかからないという自信がありますか？	とても自信がある: 11.1%, やや自信がある: 24.4%, どちらでもない: 31.1%, あまり自信がない: 31.1%, 全く自信がない: 2.2%
フィッシングのリンクやメッセージを見分けるために、どのような対策をとっていますか？	不審なリンクをクリックしない: 91.1%, URLを確認: 46.7%, 送信元メールアドレス確認: 44.4%, 二段階認証: 28.9%, セキュリティソフト: 22.2%, 定期的なパスワード変更: 6.7%, 公共Wi-Fiを使用しない: 44.4%, 情報取得: 31.1%, 何もない: 2.2%
現状で自分が行なっているフィッシング詐欺への対策は効果的だと思いますか？	とても効果的: 15.6%, やや効果的: 62.2%, あまり効果的でない: 20%, 全く効果的でない: 0%, 対策していない: 2.2%
今後、フィッシング対策の教育を受けることが必要だと思いますか？	とても必要: 53.3%, やや必要: 37.8%, あまり必要ない: 8.9%, 全く必要ない: 0%
これまでに、電子メールやSMS（ショートメッセージ）などで、詐欺的なメッセージやリンクを受け取ったことがありますか？	はい: 84.4%, いいえ: 15.6%
今までに受け取った詐欺メールで印象に残っているものにはどのようなものがありますか？	携帯会社を装つたもの: 57.9%, 配送業者: 63.2%, 金融機関: 36.8%, 宮公庁: 10.5%, 公共料金: 28.9%, 著名人: 2.6%, 怪しいメール無視: 2.6%
自分または身の回りの人でフィッシング詐欺によって、IDやパスワード、個人情報などの流出に遭ったことがありますか？	はい: 17.8%, いいえ: 82.2%
具体的にどのような被害に遭いましたか？	個人情報流出: 12.5%, 銀行口座情報流出: 12.5%, クレジットカード情報流出: 50%, 携帯会社ID流出: 12.5%, Microsoft装つた: 12.5%, アカウント乗っ取り: 12.5%, 被害なし: 12.5%
被害に遭った時にどのような行動を起こしましたか？	警察相談: 50%, 家族相談: 50%, 問い合せ: 12.5%, ID変更: 12.5%, 相談なし: 12.5%

体験型コンテンツの開発を計画しています！

アンケート調査の結果を踏まえ、フィッシング詐欺を安全に疑似体験できるウェブアプリケーションの開発を計画しています。このコンテンツでは、大学生の日常生活に即した独自のシナリオを複数用意する予定です。例えば、偽の大学メールシステムや、学生向けサービスを装った詐欺サイトなど、学生が遭遇する可能性の高い状況を再現し、実践的な学習ができるよう設計を進めています。

また、クイズ形式の問題も組み込み、ユーザーが自身の理解度を確認できるようにすることを検討しています。このコンテンツを通じて、学生がフィッシング詐欺の仕組みを理解し、効果的な対策方法を身につけられるようにすることが目標です。開発にあたっては、アンケート結果から明らかになった学生の弱点や傾向を考慮し、より効果的な学習体験を提供できるよう工夫を重ねていく予定です。